



さい帯血バンク NOW

2008年1月15日発行
日本さい帯血バンクネットワーク
発行者：鎌田薫（会長）
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-3 日本赤十字社東館6階
TEL 03-5777-2429 FAX 03-5777-2417 <http://www.j-cord.gr.jp/>

第39号

2008年 さい帯血バンク 今年の願いごと

皆さん、あけましておめでとうございます。今年も、さい帯血バンクへのご理解をよろしくお願い致します。また、これまでも増してのご支援とご協力をいただけますよう、重ねてお願い申し上げます。さて、日本のさい帯血バンク事業を担う11のさい帯血バンクのスタッフから「今年の願いごと」を寄せてもらいましたのでご紹介します。（順不同）

今年の願いごと

●日赤東京臍帯血バンク

平成20年を迎えました。当バンクではさい帯血の移植への使用を開始してから10年がたちました。当時はそれぞれ、一件、一件どきどきしながら提供前の検査や出庫を行い、移植の報告をいただいていたのは一喜一憂していました。もちろん今でも充分どきどきしているのですが、手順そのものはルーチンとしてでき上がり、自信もつき、さらによりよくなるという段階に入っています。それでも変わらず願うのは、『移植がう

まくいきますように。』

いろいろな意味でゆとりを…

●北海道臍帯血バンク

臍帯血バンクの願いごとといえば「移植を受ける患者さんがみんな元気に社会復帰できますように」という点に尽きると思います。患者さんへ安全な臍帯血を届けるためには健全なバンク運営が必須です。しかし少人数でこなす業務はいつもバタバタ。しかも会計は赤字続き。今年は是非、頭を抱えることなくゆとりを持ってバンク

本来の仕事に専念できるよう願っています。

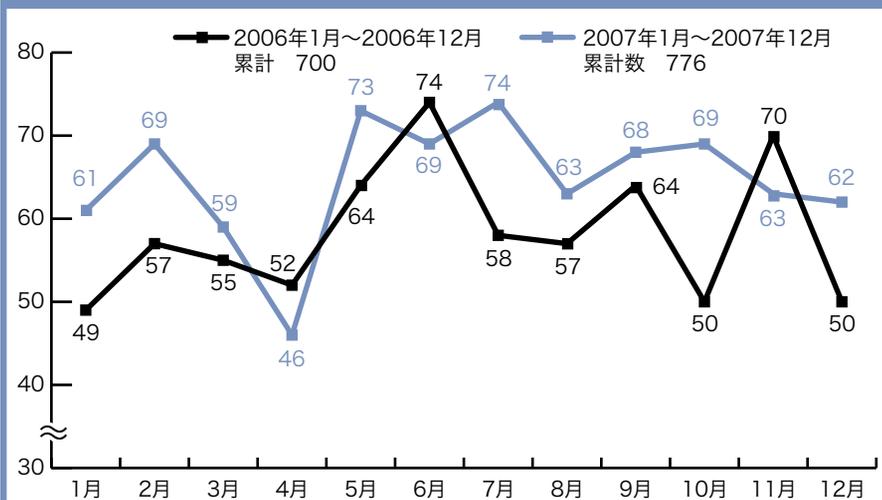
さい帯血バンクの願いはただ一つ

●宮城さい帯血バンク

私たち宮城さい帯血バンクは、おかげ様で設立から8年目を迎えることとなります。これは、多くの皆さまからの暖かいご支援・ご協力の賜物と、心より感謝致しております。今年も質の高いさい帯血を少しでも多く保存し、患者様とさい帯血を提供して下さったお母様・ご家族様との橋渡しを着実に果たして行きたいと願っております。

非血縁間さい帯血移植状況(2007年12月31日現在の速報値)

移植数(累計) **4235** 公開数 **28731**



さい帯血バンクの【ねずみどし】

●東京臍帯血バンク

【ね】 願いをかなえる！

『生きる』…患者の願いをかなえる。それが私たち東京臍帯血バンクの願いです！

【ず】 ずっと見守り続けます！

移植後も私たちは、移植を受けた患者を見守り続けます！

【み】 未知なる力を秘めた『はじめてのボランティア』！

新しい命の幸せを次の幸せにつなぐために『はじめてのボランティア』をお願いします！

【ど】 努力を重ねて品質を維持します！



ひとつひとつの作業に細心の注意を払い、回収から保存、出庫まで責任を持って品質の維持に努めます！

【し】使命をもって、患者の元までお届けします！

手から手へ登録移植病院まで確実にお届けします！

今年も頑張ります。東京臍帯血バンク一同

一つでも多くの臍帯血保存を

●神奈川臍帯血バンク

わが国で最初のさい帯血バンクとして神奈川臍帯血バンクが設立され、今年で13年目を迎えます。今では「さい帯血バンク」が認知され、多くの方々にご協力頂けるようになりました。また、昨年より、採取協力病院が新たに一施設加わりました。今年も、ひとつでも多くのさい帯血が安全に保存でき、患者様のお役に立てる事を願っています。

子歳も走り回る！

●東海大学さい帯血バンク

東海大学さい帯血バンクとして初めてのさい帯血移植が実施されてから10年を数え、昨年この記念式典を開催し、移植を受けた患者さんの闘病記など心打つお話を聞くことができました。最初にバンキングされたさい帯血(ID:96001)は現在も液体窒素の中で出番を待っています。バンクを取り巻く状況は決して恵まれたものではありませんが、新しい年を迎えて願うことはただひとつ、1人でも多くの患者様がさい帯血移植により元気になられることを祈念して止みません。

今年もよろしくお祈いします

●東海臍帯血バンク

明けましておめでとうございます。昨年は保存施設を移転し、新しい場所でスタッフも新人ばかりとなりました。今年も、新しい気持ちでさい帯血バンク業務に打ち込みたいと思っています。皆様どうぞご指導とご鞭撻のほどをよろしくお祈い申し上げます。

2008年が皆様にとりましてよりよい年でありますように！今年の年次大会は名古屋で開催されます。皆様のご参加をお待ちしています。

大人にも優しいさい帯血を

●京阪さい帯血バンク

大人の患者さんへの提供依頼が増えました。有核細胞数(NC)が多いさい帯血の保存に努めつつも、NCは基準に達しているけど前駆細胞数がちょっと…前駆細胞数は多いけどNCが…そんな提供依頼に胸を痛める日々です。赤ちゃんにも体重の重い大人にも同じように1本だけというのは却って不公平では？体重に応じて2本、時には3本、バンクと移植施設とで英知を絞って選び抜いた素敵な組み合わせのさい帯血を提供したいな…。

さい帯血バンクの願い

●兵庫さい帯血バンク

兵庫さい帯血バンクは、NPO法人になって今年で満8歳になります。おかげ様で、昨年3月国税庁長官より認定NPO法人の認定を受けることができました。今年も、当バンクの事業運営にプラスになるよう期待しているとあります。また、バンク事業を

ご理解、ご支援いただくために、春と秋に広報誌「バンクだより」を発行すると共に、啓発活動として、年1回「さい帯血採取従事者・ボランティア合同研修会」を開催しております。これらの事業の益々の充実を図り、さらに高品質のさい帯血を保存するよう頑張つて参りたいと思います。

私たちの希望

●中国四国臍帯血バンク

私たち中国四国臍帯血バンクの活動は、岡山と広島のみ県に限定されています。いつか国の全県に採取施設ができ、お母さま方のさい帯血提供の機会が増えることができたらいいなと思っています。また、臍帯血はお母さまから提供されてから調製保存するまでの時間が限られています。今、さい帯血バンクネットワークで行われているこれらの時間延長の試みが成功することを期待しています。

2008年 福岡初、さい帯血バンク推進詠み会

●福岡臍帯血バンク

- 年頭に当たりスタッフのひとりひとりが祈念しました。
 - 守ります 患者さんのために バンクの品格 (40代男)
 - 課内安全 健康第一
 - 細胞数の多いさい帯血がたくさん採取できますように (TED)
 - へその緒を 集めてめでたし 人助け (春秋)
 - 安全運転で臍帯血を集め命をつないでいく (30代女)
- 今年もよろしくお祈いします。



すこやかに、幸せに。
明日への夢、描きたい。

NIPRO

人から人へ、心から心へ、医療という名のヒューマンなコミュニケーションを広げたい。真の健康を守り、幸福な社会を築くために、優れた医療器具を広くおとどけしているニプロ。

私たちニプロはさい帯血を採取保存する技術でさい帯血バンクを応援致します。



ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号



さい帯血移植患者さんの手記③

オレ、今、生きてる!!!

ごんぞう

札幌大会（2007/9）に参加した移植体験者の手記、今回はその3回目となります。

白血病

オレが白血病と初めて出会ったのは、高校に進学して間もなくの5月のことだった。いつもは傲岸な母が遠慮がちに「今ちょっと良い？」と部屋に入って来た時、レベルの合わない学校に進んでしまったオレは、授業に何とかついて行こうと数学の予習をしているところだった。

「あのね、お母さんの同僚の子供さんが大変な病気で、もうすぐ家の近所の病院へ転院してくることになったの。あなた、子供好きだから時々でいいから顔出してあげてくれない？」

「一体何の病気？」

「……白血病なの……」

「白血病って、あの映画なんかで薄幸の美少女が罹るあの、白血病？」

更に詳しく話を聞いてみるとその子供の名前は「里美ちゃん」と言い、幼稚園に入りたてで友だちもいなくて、おまけに家から少し離れたこちらの病院だから知人がいなくて心細いとのこと。まあ、オレなんかが何かのお役に立てるならばと引き受けたのがきっかけだ。その時はまさか数十年後に自分が同じ病気に苦しめられるとは「陳腐な表現をお許し願えるなら」夢にも思わなかった。

里美ちゃん

当時はさい帯血バンクはおろか、骨髄バンクすらなく、ましてや（抗がん剤による）化学療法での完治も望めない状態だった。しかし、御両親は「必ず病気は治る」と里美ちゃんに話したので、オレもクラブやバイトの合間をぬって小児血液内科病棟へ顔を出

し、その子と一緒に歌を歌ったり、釣りゲーム（ボール紙に魚の絵を描いて切り抜き、その口にクリップを留め、磁石を糸に結んだ釣竿を用いて幼児用プールに蒔いて吊り上げるゲーム）をしたりして遊んでもらった。

しかし、一向に快方へ向かってるようには見えず、むしろ抗がん剤による副作用で苦しんでいるようにしか見えなかった。しかし、お気楽高校生のオレにはその本当の苦しみはわからなかった。治療が長引くにつれ、死の恐怖は言うに及ばず、何が怖かって次第に自分が周囲の人々に忘れられてしまうと考えることが一番つらかったのだ。やがて里美ちゃんはより良い治療を求めて転院してしまい、ますます遠くに行ってしまった。もし今あの時に戻れるなら何をさておいても駆けつけるのに……ごめんね、里美ちゃん。1年余りに及ぶつらい治療と御両親の懸命な看護の甲斐も無くやがて天に召されていった。その時真夜中だったけれど、一番お世話になった看護師さん（ちょうどその日夜勤だった）とオレのところへ挨拶に来てくれたね。

発病

さらに月日は流れ、あろうことか今度はオレが夏の暑い最中に救急車で緊急入院して医師から告げられたのが「急性骨髄性白血病」で、すぐさまプロトコルJALSG-89に従い治療を始めた。あれから抗がん剤は劇的に進歩し、AML（2）なら半数の人が化学療法で完治が望めるようになっていた。そう、これで治ると思ったからこそ、1年以上に及ぶつらい治療（抗がん剤の副作用に加え、無菌室と言う特殊な空間での閉塞感）に耐えることができた。10クルールの投薬を終え、やがて無事退院し、社会復帰も果たしもうこれで白

血病と縁が切れただろうと思っていた……が、未だ考えは甘かった。なんと数カ月後に再発し今度は致死量の抗がん剤を用いるキロサイド大量療法を受けた。この際重篤な感染症を起こし親戚一同を集められてしまった。両親の必死の祈りが天に通じたのか一命を取り留めたが、治療後またしても社会復帰して今度は2カ月ももたずに再発してしまっ

さい帯血移植

この間オレはインターネットで病気を調べ、治療法についても知識を貪欲に吸収していった。それは1つには（初めにかかった）医師に対する底知れぬ不信感からだった。そして数年前まで小児にしか適応できなかったさい帯血移植が成人にも実施していることを知っていた。そこで、この病院の勧める治療方針を丁重にお断りし、新たな病院を選び、今度こそ完治を目指しさい帯血移植を受けた。そして無事着し、退院後1年間の自宅療養期間を経て07年4月より職場に復帰している。

オレは医師ではないのでさい帯血移植（を初めとする幹細胞移植）を勧めたりはできないし、するつもりもないが、病気を宣告され絶望したり、迷っている人（もちろん患者さん本人のみならずご家族を含め）に「実際にさい帯血移植を受けて元気になったこんな大ばか者がいるんだぞ！」と大きな声で叫びたい。最後にオレの完治を信じ、この長くつらい闘病生活を支え続けてくれた両親はじめ家族、そして治療に関わってくださった全ての方々へ心よりの感謝の気持ちを送ります。





さい帯血バンク 道具箱

⑫ フローサイトメーター

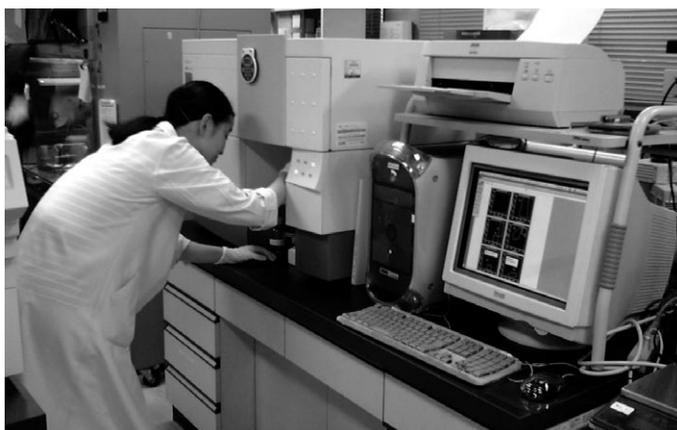
細胞の特徴を探る調査隊!!

造血幹細胞は 忍者のエキスパート

現在、世界の総人口は60億人といわれていますが、それに匹敵する数の細胞がたった2mlのさい帯血に含まれています。人間ひとりひとりの年齢、身長、体重、性格などが異なるようにさい帯血に含まれる細胞も様々です。大部分は酸素を運ぶ赤血球で、次が出血を止める血小板です。ばい菌やウイルスなどの外からの侵入者をやっつける白血球は数からすると3番目になりますが、多種多様で色々な機能を持っています。実はこの白血球の中にごくわずかだけ「造血幹細胞（ぞうけつかんさいぼう）」と言われる細胞が含まれています。この細胞は、赤血球や白血球などの全ての血液細胞へ分化でき、しかもそれ自身を複製できます。たとえば、あらゆる者に姿を変え、分身の術も使える忍者のエキスパートのような細胞です。健康な人はすべてこの忍者のような細胞を持っていますが、白血病などの患者さんはその細胞を持っていなかったりまたは持っても働いていなかったりします。さい帯血移植とは、その忍者のような細胞を白血病などの患者さんに送り込み血液をつくる工場を建てるようなものなのです。

CDは細胞の目印

さい帯血を移植に使う時には造血幹細胞の数が成否を左右すると言われていますが、いったいどうやって数えるのでしょうか？ 顕微鏡で見ても特に目印があるわけではなく、他の細胞と



区別できません。

そこで、この細胞が忍者のように変身して分身し、集団（コロニー）を作るという性質を利用して、その集団の数を数えるという方法が発見されました。しかし、この方法は、集団ができるまでに2週間もかかり、少し条件が変わると集団を作らないなどかなり熟練を要するものでした。ただし、この方法のおかげで血液を造る細胞に関して様々な研究が進み、その成果の1つとして造血幹細胞の表面にCD34抗原という目印があることがわかりました。専門的になりますが、CDとは Cluster of Differentiationの頭文字で「分化抗原群」と訳され、数字は抗原を分類しようという国際会議で決められた番号です。

フローサイトメーター で数える!

今回紹介するフローサイトメーターという機械はこのCD34抗原を持つ細胞（「CD34陽性細胞」と言います）を短時間のうちに正確に計数できるという優れたものです。フロー：流れ、サイト：細胞、メーター：測定機、と名づ

「CD34がたくさんありますように」いま、サンプル（検体）をフローサイトメーターにセットしています。

けられたように、溶液に浮遊させた細胞を1個ずつ細い管の中に流しこみ、レーザー光線を当て細胞の特徴を調べ、コンピュータで解析する機械です。1秒間に数千個の細胞を調べることができ、大きさや形、数、表面の目印の有無、さらには生きてるか死んでいるかなどたくさんの情報を得ることができます。

フローサイトメーターはこのCD34陽性細胞だけでなく、他の色々な細胞も正確にそして短時間で測定することができます。いわば、細胞の特徴を探る調査隊としてさい帯血バンクにはなくてはならない装置となっています。

■善意のお気持ちに感謝します■

長崎県 松本博・智子様 100,000円
東京都 松本翔二郎様 10,000円
静岡県 匿名 10,000円
神奈川県 佐々木大輔様 5,000円
岩手県 遠藤律枝様 2,000円

〈寄付受け付け専用口座〉

郵便振替口座番号：00180-9-57390

口座名義：日本さい帯血バンクネット

ワーク